

三河商人道

PART
159

ト一ヨ一建設(株)

代表取締役

吉田 康一郎 君



青年部とは 「交流の場」



ト一ヨ一建設(株)の吉田康一郎さんから、岡崎商工会議所青年部、そして、経営者としての経験をお聞きしました。会社の倉庫をお借りして、バーベキューをしながら、話を伺いました。委員会メンバーとお酒を飲みながら、終始、穏やかな表情で話をして下さいました。

ト一ヨ一建設(株)は、もともと材木屋でした。建設業を始めたのは先代の時からだそうです。西尾市出身の吉田さんは、西尾実業高校を卒業した際に、通常の就職で今の会社に入社されました。

先代に後継ぎがいなかったため、吉田さんが会社を引き継がれる事になりました。先代から建設について、おじいさんから材木について、多く学ばれたそうです。

夜間で名城大学に通い、建築士の資格を取得されました。「就職をする際には、他に公務員等の選択肢も有ったが、今の会社なら、名古屋の大学に通えるという話を聞き、不純な動機で就職を決めた。それが、30年以上も続いた。誰よりも木を使った家づくりが好きだ。好きじゃないとこんなに続かない」という言葉に、吉田さんの家づくりや木材に対する愛情を感じました。

もともと吉田さんは木材組合で青経連の活動をされていました。

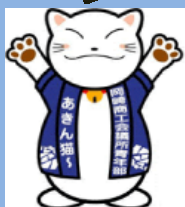
45歳で青経連を辞めた時、交友関係を広げる目的で、2010年4月に入会されました。最初は暇つぶしのつもりだったそうです。

「思い出に残る青年部活動は？」と聞くと、2年前にまちづくり委員会の委員長をされた時の話をして下さいました。どの様にしたら、上手に岡崎の町づくりに貢献できるか、深く考えた1年だったそうです。「一番の成果は祭りでの神輿だ。その時以来、会社の倉庫を提供し、神輿の作成に毎年携わってきた」と力強く語って下さりました。来年以降は、次の世代にバトンタッチをされるお考えだそうです。

委員長の時に一番苦勞された事が人集めだった事も話し頂き、対策として、こまめに声をかけ続けられたそうです。

趣味は、体を動かす事で、商工会議所でもソフトボールやゴルフをされています。料理も何でもでき、トム・ヤム・クンも作れるそうです。

最後に「青年部とは交流の場だ。みんなで集まってワイワイガヤガヤできる事が何より幸せだ」と私達に語って頂きました。



取材担当/
総務委員会
深谷武史、水越晴彦、
磯部晃作、櫻井喜朗、
米津ナオ、早川幸夫、
木戸森邦彦、前田晋作、
鳥居直之、山口純一